

1 教科について

昨年度課題

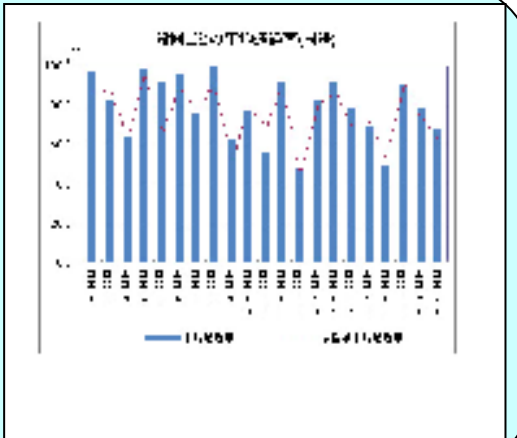
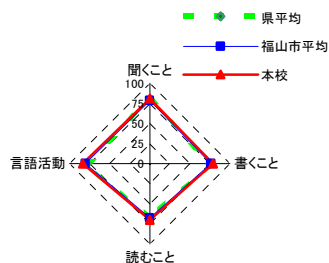
- ① ☆【読むこと】登場人物の心情と場面についての描写を叙述と関係付けて読むこと。
- ② ☆【書くこと】目的に応じて情報を読み取り、分かったことや自分の考えを明確に書くこと。
- ③ ○【言語事項】主語と述語の関係をとらえること。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ① ワークシートの工夫し、場面の展開に関わる言動を押さえながら物語全体を把握する力や叙述と関係付けて人物の心情を読み取る力を付けていく
- ② 必要な情報を書き換えたりする言語活動を計画的に取り上げ指導する。字数や構文など条件に即して書く指導を充実する。
- ③ 言語知識（文章構成など）について朝の学習タイムを活用して系統的にドリル学習に取り組む。

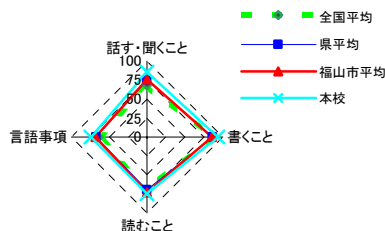
「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均 **75.0 %**
 福山市平均 **75.5 %**
 学校平均 **78.3 %**



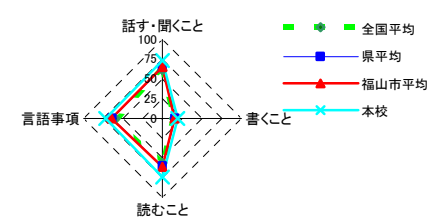
全国学力・学習状況調査正答率(A問題)

全国平均 **69.9 %**
 県平均 **72.9 %**
 福山市平均 **73.3 %**
 学校平均 **79.5 %**



全国学力・学習状況調査正答率(B問題)

全国平均 **50.5 %**
 県平均 **53.8 %**
 福山市平均 **54.0 %**
 学校平均 **63.0 %**



※ この調査結果は児童の学力の特定の一部を示したものです。

重点課題

- ① ○【読むこと】場面の移り変わりや情景を叙述とともに想像しながら読む力が不足している。
- ② ○【言語活動】前後の内容を把握し、適語を選ぶことが十分出来ていない。
- ③ ◇【書くこと】文の意味のつながりを考えながら接続語を使って内容分けて書くことができない。
- ④ ◇【書くこと】目的や意図に応じて必要な事柄を整理し、事象や意見を関係づけて書くことが十分出来ていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

全教科・全校で取り組むこと

- ① 辞書で意味調べをし、語彙数を増やす。
- ② 長い文章の小見出しや日記・作文の題を工夫させる。
- ③ 「…で…」などの接続助詞を多用していることに気づかせ、接続語や文末の表現を工夫し簡潔に文章を書いたり、発表したりさせる。
- ④ 各教科、日常生活で文章と表・グラフから情報を収集し、報告文を書く活動を取り入れる。

国語科で取り組むこと

- ① 読み取った文章の内容を字数を制限してまとめたり、適語で小見出しをつけたりさせる。
- ③ ◇文や文章の構成を意識させるため、順接・逆接などの接続語を適切に使うようにさせるとともに、単文・重文・複文についてしっかり理解させる。
- ④ ◇報告文を書くために必要な材料をメモに書いたり、グラフを用いて自分の考えを効果的に書いたりさせる。

来年度の目標値

県平均よりも10ポイント以上上回る。
 通過率 80%以上の児童の割合を70%以上にする。(基礎基本、全国A)

1 教科について

昨年度課題

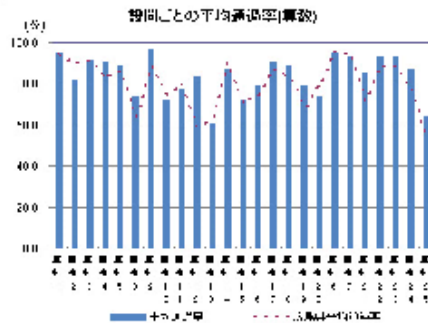
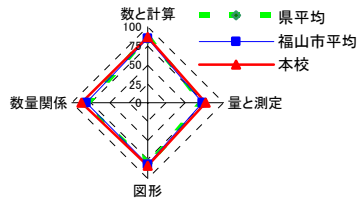
- ①☆【量と測定】面積についての感覚や身につけていないため、150 cmを縦10 cm×横15 cmの長方形と見当づけられなかった。また広さの単位にもかかわらずcmを選択している。
- ②◇【記述式】筋道を立てて考え、示された判断が正しい理由を式と言葉を用いて記述できることができない。
- ③◎【図形】三角形の定義は理解しているが活用して問題を解決することができない。
- ④◎【数量関係】伴って変わる2量を式に表せない。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①広さなど量の大きさについて、様々な具体物の大きさを調べたり、確かめたりする算数的活動を積極的に取り入れる。
- ③学んだことを生活に活かす場を設定する。
- ②④数量やその関係を表現するために、式だけでなく、式が何を求めるためのものか、計算から何が言えるのかなどを問いかね、言葉や図などで補って説明する力をつける。
- ②自分の考えを他者に説明する際、何を根拠としたかが明らかになっているかを児童どうして確認し合う活動を入れる。

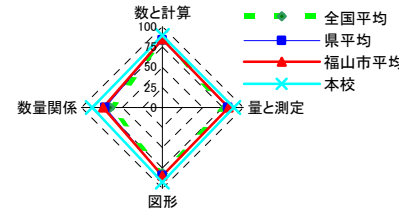
「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	79.8%
福山市平均	79.9%
学校平均	83.7%



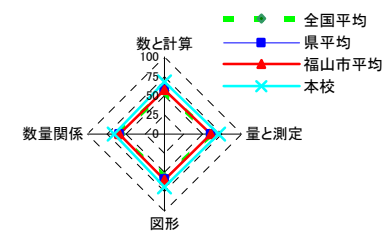
全国学力・学習状況調査正答率(A問題)

全国平均	78.7%
県平均	81.3%
福山市平均	82.0%
学校平均	88.9%



全国学力・学習状況調査正答率(B問題)

全国平均	54.8%
県平均	56.6%
福山市平均	56.1%
学校平均	65.4%



※ この調査結果は、児童の学力の特定の一部を示したものです。

重点課題

- ①◎【数量関係】量感が不足しており、単位の換算が正確にできていない。
- ②◎【数量関係】数字が表している意味を理解することが出来ず、変化のきまりを見つけ数式化すること。
- ③◇割合の大小を判断し、その理由を数学的に表現すること
- ④◇示された解決方法を理解し、見方を変えた別の解決方法を考え、それを数学的に記述すること。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

全教科・全校で取り組むこと

- ①習った単位を使い身近な生活の中にあるものをたくさん計測させる。
- ②表のどの部分に着目すればよいか考えさせ、変化の決まりを見つけ多様な表現でノートに書かせる。
- ③◇社会科・理科において数量を読み取ったり、グラフのどの部分に着目すればよいか話し合わせる。
- ④◇一人の児童の考え方を他の児童が説明したり、どのような工夫が用いられているかを話し合ったりする活動を取り入れる。

算数科で取り組むこと

- ①単位の大きさを視覚的・体験的に捉えることができるよう工夫して量の感覚を養う。
- ②変化の決まりを見つけたら、言葉に表したり、数式化させたりする。
- ③基準量と比較量の大小に着目して割合の大小判断をする活動を取り入れ、その際、図に表させる。
- ④◇式だけで説明している児童に、何を求める式なのか言葉で説明させたり、言葉だけで説明させている児童にそれを式や図で表現させたりする。

来年度の目標値

- ・県平均よりも10ポイント以上上回る。
- ・通過率80%以上の児童の割合を80%以上にする。(基礎基本、全国A)

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査, 児童質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：学校質問紙, 児童質問紙)

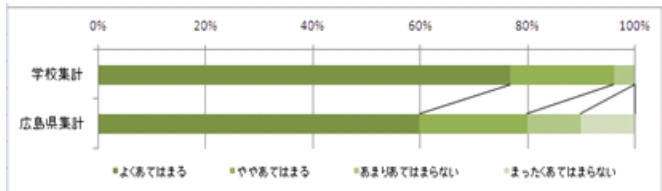
(1) 生活・学習

校番(63) 福山市立明王台小学校

普段、どれくらいの時間睡眠をとることが最も多いですか。

普段、1日あたりどれくらいの時間TVやビデオ、DVDを見たり聞いたりしますか

改善したい点(◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組みの内容
◇就寝時間が遅く1日の睡眠時間が短い。8時間未満の児童が約35%もいる。 ◇1日に3時間以上TVやDVDを見ている児童が5年生で約28%, 6年生で約45%もいる。家庭での時間の使い方に課題がある。 ◎予習・復習に取り組んでいる児童の割合が低い。	◇帰宅後の時間の使い方について、家族でもう一度見直してみるように協力を依頼する。 ・睡眠時間を8時間は確保する。 ・TVやDVDの見方や時間の約束の確認 ◇自主学習ノートに取り組みませ、予習復習の習慣化を図る。



来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠時間が8時間以上の児童を80%以上にする。 ・1日に3時間以上TVをみている児童を20%以下にする。
---------	--

(2) 教科

分からない言葉や漢字を辞書を使って調べない児童が約25%いる。

算数の授業の中で学習したことを普段の生活と結びつけて考えることが出来ない児童がいる

	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	◎分からない言葉や漢字を辞書を使って調べない児童が約25%いる。 ◇意見を発表するとき、うまく伝わるように組み立てを工夫することが苦手である。	◎言葉の意味調べを家庭学習させたり、授業の中でも辞書をそばにおいて調べる習慣をつけさせる。 ◇日頃から構成メモを作成させ、文章の組み立てを意識させる。説明の仕方など言語記述を身につけさせる。
算数	◇算数の授業の中で学習したことを普段の生活と結びつけて考えることが出来ない児童がいる	◇学習した図形を身の回りから見いだす活動や、見いだした図形のどの情報を用いれば問題を解決できるかを考える活動を積極的に取り入れる。

来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない言葉や漢字を辞書を使って調べる習慣が身に付いている児童を80%以上にする。 ・算数の授業で学習したことを生活に生かしていると感じられる児童を80%以上にする。
---------	--

3 指導改善のための実施スケジュール

校番(63) 福山市立明王台小学校

